

【沿革】

一般財団法人 徳島県観光協会

昭和42年12月	財団法人徳島県観光開発公社 を設立
43年 1月	徳島市万代町1丁目に事務所を設置（1月11日設立登記）
60年 4月	徳島県立「大鳴門橋架橋記念館」を受託（平成18年3月末まで）
平成 4年 3月	社団法人徳島県観光協会の業務を引き継ぎ、 財団法人徳島県観光協会 と改名
平成 5年10月	徳島県立「産業観光交流センター」を受託（平成18年3月末まで） 徳島市山城町東浜傍示に事務所を移転
12年 3月	徳島県立「渦の道」を受託（平成18年3月末まで）
13年 4月	徳島県立「あすたむらんど」を受託（平成18年3月末まで）
18年 3月	南阿波サンラインモビレージ等の直営事業を廃止
18年 4月	指定管理者制度による徳島県立「産業観光交流センター」の指定管理業務を開始 (株)ネオビエントと共同で、指定管理者制度による徳島県立「渦の道」と徳島県立「大鳴門橋架橋記念館」の指定管理業務を開始
18年11月	指定管理者制度による徳島県立「男女共同参画交流センター」のホール、研修室等の指定管理業務を開始
20年 4月	(財)徳島コンベンションビューローの業務を引き継ぎ、コンベンション振興業務を開始
25年 4月	一般財団法人徳島県観光協会 へ移行
27年 4月	国内旅行業（第2種）を開始
	現在に至る